

1

3. りかえり

① 今日気付いた事

POの仕事は全体最高

→評価も褒め言葉も顧客満足も、全てはビジョンの共有が前提
ビジョンをどうやって共有するか?がPOのマインドセット

② 明日やること

- ・ ちょうど定例ミーティングがあるので、ビジョンとみ人たち(17名)
- ・ 自分自身が今のプロジェクトにビジョンを持てるのか、書き出してみる。

の今日、気づいたこと

- なるべく小さく失敗する
- 失敗事例を共有する。

② 新規アプローチ

- 他の新規事業のオナーと失敗事例を共有する。
- なんとか開発スコープを小さくできるよう調整する。

- ① 「顧客」というワードを重ねて、(個人で「お酒を呑む」)これが目的だ。
- ② 自分たちの「顧客」は「いかが?」につけ意識合わせを行ふ(それがモード)

- ・ 気づき
 - インハウス、アウトソース化顧客、価値の定義が変わった。
 - ↳ ビジネスモデルが変動していること。
 - PGは、エガード、生産者、販売者のハブ(IF)であり調整、それに付帯する機能が求められる。
- ・ ネクストアクション
 - 自分が対応していく相手やとのパンションの人材である。
考え方上で、提案、発表を行う

2

3. リカえン

■ 今日気づいたこと

アシャリル宣言に書いてあることって、
やっぱり大切。

ソフトウェア開発に限らず、どんなことにも
適用できる。

ただ、プロダクト責任者となると、やはり重いな....

ものすごく人間的(対話的)なスキルが必要となる。

対 コャク) 端づくり
対 チム) ~~主張説明責任~~ バランス
対 ステークホルダー) 決める パララス 内容を
 やつて。

■ 今後、改善すること

社内チャットに季節をつぶやいてみる。

1. ① 今日気づいたこと

02: 人間がおもつことは3つをいう教えた。
① ② ③

① の 外部、内部のからだ、相手、人のことを考慮し、
② ベンチマーク目標を達成するための方法をつかう事が重要なんだと
改めて感じた。 ③ Just in time で仕事をする。

2. ② 今後アプローチ

② 納期・締切の遅れからないように早めに意識し、仕事を進めよ。

PO Study テイト #01

2019 (04 / 22 (Mon))

今日 着付いたこと

- ① ビジネス会議スケジュール
企画、開発、QA、運用、マーケティング
→ メーティング室の回観も含め、確認
- ② POは機密を守ること。
 - ・共通言語と専門用語
 - ・全体最適化を図る
 - ・PDAの透明性を上げる
 - ・変更申請書、PR-スケジュール
PR-ド派生の多さと
PR)を定める（上記を定期的な）

今後改善すること

- ③ 今後1年の目標を達成。
 - 最初の月で最も多く達成する
 - 結果を共有する
 - 実績値を定期的に更新する

4/22. POSTOPY.

支拂. 3-4P'2'1

700ダクト清掃者へ
必要TJは...
R

RH. 75/0シ-

HR. 27.2 - 9.7

ステン... 全部.

人間の不確実性の問題
領域には見えない本質的なP'を考へる。

Next Action.

見立.. 二つ 明文化
U. ケネザハカレ
考え) 説明...

今日、気づいたこと

- ① ロダクト責任者は
 - ・全体が見えないといいHな
 - ・末端を個々に伝えHないといいHな
- ② まき込んで、まとめる
 - ・共通言語、ヴィジョンを示す
 - ・コミュニケーション(ストーリーバックのスピード)
- ③ 胸をくくって、決めて、示す

今後、改善すること

- ・色々な立場の人と言はず
- ・も、と勉強する
- ・改善点とその影響範囲を常に考之す

4/22(月) PO Study

今日気付いたこと

- 。プロパティ責任者は“チームそのもの”
- 。立ち位置が違っていても、皆似たような
想いを持っています。
→ つまり、誰もが解決できるのでしょうか？

今後改善すること

- 。振り返りを実施する
まずは個々で
- 。何故やるのか？そのゴール？を
明確にしながら皆に伝えよ。

気付点

- いわゆるアラート表示と
魚注・飛沫の関係性を
T-h で石川変換した時は
達成感が大きくなりすぎた
- 2.4で実験2~3回目
はT-h X-Yバーへと改めた
ところが、T-hとX-Yの
位置関係がわからなくて悲ひた

改善点

- 図面T3 T-6X-Y-H-E,
E-LF の全般の構造を
T-C(船員監視場所)に近づけようとした
- R-T-R, T-Y-Z-Yと
X-Y-Hの直線化を
C.後立3群会議で改めた

今後、努力すべきこと

千人以上必要在庫は
心理的安全性、そのため
元々多くあった。

- POは、干渉しないで、管理
品質、R、TD等の
ドキュメントは社
etc...
- おじさんとおじさん達は、
おじさん達は、
おじさん達は、
- 上の価値を属するための
POと孤独化して、干渉しないで、
必要なときに必要なときに
- 現在のP&L、W.F.等が受け持
本質は内山さん

今後、改善すべきこと

(明日から実施するNext Action)

千人以上も、
→ 声掛け

→ 心理的安全性

自身も元気に健やか
→ 千人へ関心

2019/4/22

PO Study TTK

3

スリガエリ

気分下事

明日やる事

- ・ビールを飲んでからのPoststudyをなかなか下り。コハク食うと眼弱^{ゆが}。
 - ・PBLの見直し
- ・ワードカフ、スラッシュ-Wbrあるらしい。興味津々。
- ・時間が短かいとキレイな結論になりがちで印象。
- ・Backlogの粒度とプロダクトの工数重要、超重要。
- ・「粒度」のビールを作ってみる。

○ 今日 感想について

「ワクワクさせられる」が下印
と「スロー4がささつて
4-4で7777させられているのか?
ワクワクせ続ければいいのか?
そこまでされると

○ 今後 改善する事

- ・ ハーフスコニセント
 - ・ ブルートコニセント
 - ・ ~~横~~ ジョー = 2.7°
 - ・ バイクロウの順序
- ワクワクが重づくるか振り返る!

今日の気づき

Backlog の粒度と
精度(特にユーザ視点)
は大事。

今後の改善

もう少し具体的で
細かい粒度の Back
log など、T-S 特性。
考元、作成者。

4-1

ぬりがえり

・気がいったこと

- ・4-4の英語で何がどう
- ・4-4で英語の目標を達成する

はまだ多くの伸びはない。

・明日出社してやること

- ・主に2人のサポートに入る

① ~~████████~~

10月1日: 自分とPCCで会議をする

その後、自分が運営している会議室を

相手も運営している会議室を訪問する

32名登録(10月)

参加者、登録料金、会員登録料金(660円)

~~登録料金: 100円~~ (登録料金: 100円)

② ~~████████~~

10月1日: 会議室を貸し出し

20名以上で会議室を借りる

1.

1. 大きな目標が決まらない、すぐ向かえない

今日の度付き

なら、小さな出来そうな目標にブレイクダウンして小さく取り組んでみる。

2. 今Sprint、今日目標に向かえてるアクションは何かを

やるべき
Action

こう、宣言してみる。

今日の気付き

- 業務種別違和
PO, PMの小遣みは同じという事
→ 本としまして○
- 小遣みの根拠は「F-Aヒート」による。
目標・F-Aとの3.3まで・F-Aで
決すべきは「運賃」、行重の旅費と
F-Aとの日率(%)をカウントするべき
- おまけについて「タクシのPOと
タクシのF-AのPO」は
→ おまけ決算に使うと良い、なぜ?
視野が広がる!

今後改善すること

- 目標をF-Aに共通
「しつづけ」
- POがどういうF-Aと
1つ1つ、すり合せる。
- 強制の上での強制ではないから
これを知らなくて十分である。○

感想など

- 7月11日(火)、12日(水)、13日(木)
→ 現場見学は
 11日、現場見学日付11月11日。
- 関連の実験会
 ありや・やながいた。
- 本筋は結構です
 人材との連携は満足。
- 7月外責任者いきる予定
 ④ が、まだ現状はRIZZI

今後改善すべき。

- 生産性を上げるために
Meisoの時間確保
- Postudyに時間をあてる
 同じ問題を複数回
 もう1人と2人で現場
 で検討の初期立会と
 有り(最近、外)
 出来たがった。
- 現場で行動する人材を多く
 いるが、RIZZIと多く。

若 $\gamma \approx 0$

② $T = U + \Delta E$ 且 $\Delta E = \frac{1}{2} k_B T$.

[$\Delta E = 0$ or $T = \infty$ or ~~碰撞~~ \rightarrow or (only)]

time \rightarrow ΔE .

即 $n^{\text{初}} \ll n^{\text{末}}$, $\Delta E \neq 0$ 时 T 不等于 $\frac{1}{2} k_B \Delta E$.

③ $\Delta E = 0$ 时 $T = \frac{1}{2} k_B \Delta E$ 为何成立?

$\Delta E = 0$ 时 $T = \frac{1}{2} k_B \Delta E$.

平均速度

$\Delta E = \frac{1}{2} k_B T$ 时 $\bar{v}^2 = \frac{3k_B T}{m}$!

暑がったこと。

問題が1つある。切り口は人を殺すある。

それは前のやつと同じで、誰かにからねるところがある。

そこでKPTをどうぞと箱蓋の場所を記す→改善へ。

山根君があなたが理解をし、評議会の運営を整えるにかかる。

改善あること。

今度KPTを1h2.0sh KPTの1倍、2.0sh

→ 1.5h2l.1hでKPTの使用する。

これが確認されて下さい。

設けた、場を作るの時間。の上りんではある。

箱蓋-この箱を手で開けるのが楽しいあなたたち。

それから手。

箱蓋の隙間が出来てます!!

気がいいこと

自分のチ-アの"何を目指に進んでいるのか"
共通認識を持たせてあげられているのか
考えているかで"考えていない"もしない。
開発Tの課題を自分で解決しようと
していない。

スケス+アクション

チ-アXンバの"目指すこと"をピア-ニングする、方向性合っているか
ドキュメントの更新タイミングを明示的にする、個人しか手握っていない
知識やナレッジ。(土俵をなくすために共有方法を定めて
根気強く定着させる)

4-2

スウカエリ

今日会付いたこと

話し手の立場の違いで、
同じテーマについても言いていても
全く異なる伝え方をする。

そもそもアロタクト開発は（大変だけ）
楽しいことだよね。→ そういう方に一定の
共感を得られて安心した。

今後、改善すること

→ **相手の言語で話す。**

→ **もっとみんなにワクワクしてもらう
ための仕掛けを考えよう**

→ 一方向を説明ではなく、
各人のビジョンが湧きあがるような
ものを目指そう。

- ・同じ立場の同志へのレスポンションは学びのためで good.
- ・全体最高の観点を志すない強い精神力を持つ。
- ・ワクワクするビジョンを示す。

今日気づいた事

- ・プロダクトビジョン大事(改めて)
- ・自社サービスと戦略があると余計に難しい。
- ・わくわくしてもらう。
- ・強い精神力が必要。

今後改善する事

- ・わくわくしてもらう
- ・プロダクトビジョンを立て
- ・上記をチームでディスカッションする

今日、会付いた車。 大 → 小
共通の目標 ⇒ 大きさが色々ある。(ミラクル...開拓小)

全体最適化大半。

↳ やりましたのは力(発言力、精神力)を中心.

↳ 良い設計、技術...まで(他の原則)にも言えます。

Next Action.

分業で職種で分かれ、少し部分最適化を心がけます。

↳ 全体でつなぐ。つなぎ = 3D 図柄.

これまで次の改修の目的や背景は全体で共有す。

■ 与日争ったこと。

・ 全体最高を最後にすみどりが

大事と感じた。

今後、改善すること。

・ プロダクトビジョンを明確化すると共に、

どう伝えればモチベーションを上げられるかを

考えながら、4-セルディングを行っていく。

<今日 気づいたこと>

· あらためて、いろいろ友人の話をきき、同じ様な課題みたいに、自分には異なる意見が見方があるだと感じました。

<今後改善するところ>

普段、自分のやっていることをへんなことまで通す。続けるのが、再度、了らずの基本を思い出させて再構築が大事だと思った。あらためて考へたいと/or。

4 全員が共通の目標に向かおう

どこまではエンジニア/PDR?

差し分けて 著しい設計手法の仕事?

レーティングスケールで何点がいい?

問題の可視化はどうやる?

1986

知識体系

5

3. シリガムシ

ふりがえり

■ 今日、気づいたこと

- Whyの部分をちゃんと説明してあげる
(しつこく)
- PO / Business Owner の
覚悟が非常に大事だ。
- 失敗に再現性がある

■ 今後改善すること

- Whyと期待値の共有を
する会をやつはんちゃんと
企画しよう!!

3/10/24 ④ 今日の会議テーマ.

・ 目標やKPI(方針)を決める事.

会社の方針

方針決定会議

・ 会社の目標と現状分析. 対応は ~~は~~ ~~しない~~ でいいですか?

年率10%成長目標、会社を譲りたい

・ 結局 指定された方針を達成

方法を定め

3.11 週り

① 気づいたこと

コミュニケーション量を増やす

情報が70%を埋める努力.

自分の熱量、自分の熱せの火.

本質は7オーカスする.

原則は7オーカスする.

細かい課題や要素にふり回されない.

モチベートする 原泉、原体験を保てる.

② 明日出来てやること

原則から70%を直す.

~~70%~~

今後実現不可能

- 4-ルール・アドバイス (2882)
 - これが違う4-ルール (Tenn).
 - 10-11+47.2 知子
 - 例へば「？」
 - 期待値の記述を合せよ。
- 現在は再現性がない。
 - 失敗とは再現性である。

今後改善可

- 4-ルールと今後の内容を
統合する。
- 結論も付く。

■ 今日、気付いたこと

- ・ ブルーベンダでの苦労の共有ができた。
- ・ 会社とまちでの情報開示範囲は もと議論の余地があるみたい。何か良いアプローチあると思う。
- ・ ブルーベンダでのアンケートは人り?

■ 今後、改善すること

- ・ 会社のブルーベンダに 焼けビニールをフードバックして ディスクッションをする
- ・ お名前(事業会社)へ 焼けビニールを 基本。(サイト色トコトコ...)

- ① 今日気付いたこと
Product 責任者と
行動を取る人との3.
- ② 明日改善すること
今後の共有
Why を再整理

6

3. りがえり

今後、改善あること

- ・バックラグがプロダクトのR+D+2.7%である以上
開発費を再支負する。
- ・上位のマイラムに向けは、早めにリローンチ(3ヶ月)
を計画する。3者でどういうやりとりがあるかトレースしておく。

今日気がいったこと

- POの責任は顧客を正しく最大にアリバリすること

→そのためコミュニケーション密度を上げてほしい。

User \leftrightarrow PO \leftrightarrow Dev.

- まずはバックログの透明性を今ほしい。

3者が共通認識を持つようにあらかじめエスコープ

↓ プロダクト視点で
話しよべませ

↓ コミュニケーションがこれまで見つけた。
改善していく

・今日会付にて

全体のアコニ、マニフェスト改善の確認

困難点の判断についてか。

部分で中止可となる。

道上全体最適化得る会。

(マニフェスト → マニフェスト → マニフェスト)

マニフェストは主要な手続。

見直しよ。

・今後改善予定。



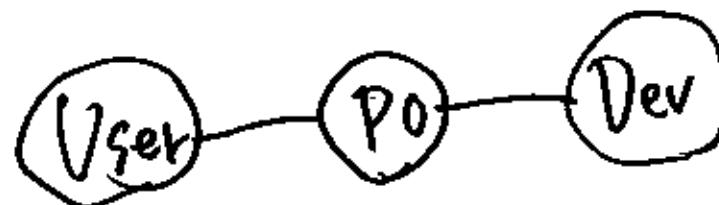
マニフェストの内容と被るが、

マニフェストの透明性を商討

事始めにマニフェスト。

また、本档の権利方法の取扱い

実施法（ユーザ没落金）。



N : 1 : N

POはN:Nを意識する。
User Dev

今日 気づいたこと

@POが「バックログ」をもいてい維持する

必要がある理由。本質は、User : Dev = N:N
だから。

① 1:1で対面が最も効率的な方法。
N:Nでは、「バックログ」(および透明にすべき
モード)などのプラクティスがある

今後 やること

- ① 明日、バックログを Userへ公開する
- ② JIRA の運用のやつ(名前わざれた)で、
ユーザーからの お問い合わせを受けられるようになる。
※ 自社で作ったAPI、テスト導入による。
- ③ Dev X-ray とは、1on1 ちゃんとある

7

アリガエリ

今月、会議のねらい :

1. 各原則の理解はまだまだでありますので、イメージがつかない。そのため、実例の説明をアピールする。また、ある意味では、実例の説明をアピールしたいと思います。例えば、各原則で、これは成功や失敗のケースをアピールしておこう。
- 個人としては、シナリオを経験するけど、みんなはどう思っているかのFeedBackを開き方で、改善していくところを目指します。

2. 今後の改善方向。

組織と連携の問題、PmとZ、論述の問題など、今後、文章の完成度、PmとZ、その会議の実施含むなどは大事となる。

今日、会ったこと

- ・パッケージの粒度や視点の整備が必要。
短いサイクルで開発を回すには今が重要
- ・プロダクト責任者 → フルスクラーニングの
猛者と今から上昇していること。
→ 全体最適化と図る。
モチベーションの違う人達をまとめる。
みんなをワクワクさせる。
- ・内部品質・外部品質のバランスを取る。
内部品質は改善のサイクルを止め、外部
品質の向上に寄与する。
- ・結構似たような課題を抱えてる人がいた
なあ。

今後、改善すること

- ・パッケージの再整理。
様々な視点を盛り込む。
- ・腹を括る。開き直る。

今日気付いたこと.

- ・共通への正解を出す事は難しい。
- ・ フロアグリーンのマインドセットは、覚悟とも取れると思った。
- ・ 立場や輪姉へ違う人たちをフロアグリーンを中心としたう毒くかかげた
- ・ 全体最適という視点は重要だと思った

明日改善すること.

- ・ ある程度覚悟を持って、腹を括って問題に対処していく
- ・ 視座を高くして問題に向まう。
- ・ エンジニアと信頼する

今日気づいたこと

~~「トトタ×2」と2まで書くのか~~ 3問題は
どこでもあるよ3点

- 10年くらいいたつと用意当初×2はいなぐ
なるらしい。(ウチの会社もいなぐ)
- 受入基準は品証の直往観点、(2は)がさ
- 急忙にはとてつはやくななりがさ

今後改善方法

- ・トキメキなどのよしにまだかと見て合意
- ・一度に全部を書かない。
- ・どこまで書くかの基準は78%外責任者
がまずは勇気を持つ決める。
- ・~~ここ基準~~ 良い; たま、悪いトドを振り返す。
見直す。

9

ふりがえり

氣力

高品質化

feed back の ZE-L-E

早めに学習

休息

学習訓練の時間

POH考慮(物理)

方法

実現性の価値

Next Action

- 内評議会 上位
2-1) A-キヤウの
可読性
- P:RHO ↓
元本のリダクション
→ TDD実行
- リファクタリングを
どうやるべきかの議論をする

価値時間

どうして何がよいか

今日会ったこと

- ・色々環境に困っている
事.
- ・ステーキホールダーによって
対応(かけられかけられ
ポイントかちか)かも.

今後、改善すること

- ・より分かり ~~簡単~~ の溝を
上げる為にチームをよく組む.
- ・より品質は向上強から.

今日 気付いたこと

- ・ 絶対的ではない。
- ・ ランチショッピングを
強く意識して行う
- ・ 気付くことも価値がある。
- ・ ランチcreateFrom: 大

今後 改善すること

- ・ 失敗しても
そこから何かを学ぶ。
- ・ その後も活かす。
- ・ バランスをよく
意識する。
ランチ ⇒ 学ぶ
(投資)

貰ういたゞ

外行品質を高めることは内行品質を高めが

「改善」につながるには「金松」が必要です
まずは「手帳」「金松」を持たせましょう

お客様が喜ぶ「画面」≠ Photoが喜ぶ「画面」

改善する」と

「内行」と「外行」の運営を分けて考えます。

改善のしくじ時間も与えよ。

お客様が喜ぶことで真庭整理します

今日、気づいたこと

漏是 いつながる

- 顧客 ~~顧客~~ 外部 ~~顧客~~ と。
価値

- システムの構造・品質を表す。
内部価値がある。

2-7' ← PO Dev テスト

- 内部価値は、腐りやく、見えない。

悪くならない。パロディヤー 悪くならない

- PO と 12、内部価値の意識を

~~漏れでないことをする~~

意識する必要がある。

今後、改善するこ

1. "コード" を評価指標と
マッチする。
2. 上記1. を適用する。

④今日気ついたこと

- ・品質は大事。品質を保って開発すれば、この分コヤクに還元できる。
- ・品質には「内部品質」と「外部品質」がある。前者は開発効率を加速させるために必要な品質。後者はコヤクの満足度を向上させる品質。
- ・失敗は再現性がある。

④今後改善するところ

- ・開発者の心理的安全性を高め、余裕ある開発を心がける。
- ・時にコヤクと交渉することも必要。コヤクが求めているものはfeatureではなく詳述の解決策だから。工数たくさんのは、バックログは見方をかえるのを心がけた。
- ・失敗したときこそ「リカバリー」に力を

10

ス・リカニン

・今日 気づいたこと

- ・何が学びだったのか 明確にする
- ・失敗したことを 賢めていく
- ・仮説を立てて そこに向かっていく
- ・捨てる勇気
- ・失敗は早い段階でした方が良い

・今後 改善すること

- ・メンバーに対して 学びを意識させる
- ・振り返る回数を 増やす
- ・適度に手を抜く

① 今日気付いたこと

- ・ 同じ課題感を持ついる人がいて安心して。
- ・ 学習コストをどうと考えるかどうか(求められる成績)
↳ 新規事業

② 今後、改善すること

- ・ ナレッジをためる → アウトプット ↗ 同じことを繰り返しておこう
- ・ ビジョンを明確にし、チームに共有 ↗ みんなで共有認識を持って
- ・ KPT の ~~習慣~~ 習慣を意識して作る。 ↗ ハタチ減らす。

○ 気付いたこと

- 細かな差異はあるけど、同じような悩みを抱えている人が多く、安心感した。
- 用語が大きく飛び出してたけど、皆さん全く理解されいるんだろうか、同じ認識なのだろうか。

○ 改善すること

- 明日、今日の内容を4-hmにまとめる
- 開発4-hmを書き込む。
- 気付きや自分の考えを整理して3Dトートする（準備をする）

。 今日会ったこと

[何がムダで、何が価値があるのかという]
[合意形成には心血を注ぐ必要がある]

なぜなら ...

本当に必要な仮説検証でも、はたかく見下しムダに見える
→ 不要なコスト = ハンディコスト、会議、成果物につながる

。 明日、やること

① ロジックで検証してみる課題の確認

② そのため不需要なタスクは本当に多いか?

③ 他意外な、ロジックの組みを詳しくみる

今日、気がいたこと

- POは、チームと同じ目標へ向かわせようのに、社内・外に対する説明責任がある
(チーム内・外)
- 何を何故つくらのり
- 仮説は何で、仮説から導き出された答えは何であるか
(失敗も含む)

今後、改善するよこと

- 過去の失敗事例の見える化
- 素早く仮説をつくり、素早く実行する

今日、気づいたこと

- "ムダ"と謙譲だけでもたくさんの方々があり、必ず"ムダ"が何なのかを定義しておくべきである
チームで

- 今回のようなPOとは?を考へる場でディスカッションし深めることも重要である
考へる

今後、改善すること

- ナレッジシェアをする文化作りを意識する
- 朱記入を必要なものであると考える。
ただし、同じ失敗はしない・減らすようにチームに繰り返し共有する

。 今日 気がいい方 二
。 学習意覚 復習 ~~の~~ ~~学習~~ ~~は~~ ~~許容~~ の 組織子割り

a. Next Action

① ...

今日 気がいて事

チームの中での方向性の統一や
現状の認識、確認をすることが大切
その為に成功も失敗も含め振り返りを行うことで
~~作業~~ 知験の蓄積を行い、次につなげる
この流れを短いスパンで行うからムダぬがでない?
いい

今後 改善 する事

自分たちの作業の振り返りをしきりと行い
次に何が生かせるかを共有し続けてたい。

11

三、ツ 分えリ

今日、気づいたこと

- ・全員が共通の目標に向かうには
"ワクワクするビジョン"が重要
- ・メンバーを信頼→丸投げ
↳ なぜと why を伝える
- ・POは伝え続ける
伝える工夫をする

今後、改善すること

- ・ワクワクするビジョンを考える
- ・メンバーは why を伝えよ
- ・メンバーに伝え続ける

・今日気がついたこと。

午後の問題は7点。自分は事件ベースで答えるべきだった

抽象化や本質的な問題へ発展するべきだったのか、今は、(是れ)。
(そのためには、まず問題を決めてから、その為。)

四方(3.4題)で2(体制), 2(行動), 2(問題)。(各事項(二番目と三番目))

・今後改善目標など。

~~技術力と知識の充実~~
~~問題解決力の向上~~
問題解決力の向上。

→ 今日気づいたこと

メンバーが自分のやった事、自分の受け持つ
いややうな～としても、それはそれで各々
の強みを上手く生かしてもらえば良いの
ではなか。ただし、普通のゴルフ
目的はみんな教育だ。※部分最適によらず
(まだ)。フラグメント責任者はこの部分の
バランスを取れるよう(に伝えた),聞いたら
「すごく良い~?」

→ 今後改善すること

・相手のはもとへ聞く

ふりかえり。

気付いたこと

- ・テーマを決めてディスカッションする良い
人の分だけ学べる
- ・千人ビルド運営に正確はつぶ。
個別化最適化していく。
- ・POはチーム全体でゴールを見せるアジャストする。

明日から改善する

- ・テーマを決めてディスカッションする。
- ・ゴールを伝え範囲子。
全体最適。

乞う仕事 = ズ

~~即ち和議~~

自律的で T-a や ① は

つねに II の II \times II - 以後

② と ③ と ④ がある。

今後、改善するべき

T-a \times II の II の中を II と III と

より複数 (頻度が薄くなる)

全く II 道を走る時

今日気付いたこと.

- 「よくなれやーん」の解釈は様々.
- 「よいやーん」の解釈も様々.
- チーム内であらゆる情報を共有する事は最低限必要そう.
- 魅力的なゴーン・ヴィジョンでメンバーを引っ張る.

今後改善すること.

- 「やーん」につい考えた機会を増やす.
- 「やーん」の「目的・目標」を共有する機会を設ける.

今日、毎日、ひと

それを小問題と思つてゐることは
遠く、対応策はかなり

同じような意見が出てくる

知識不足なのか、それが解なのか？

「こうすべきなの」がわかっているのに

上手くいかないのは、

行動トラップ的な問題か

どうして違うのか？

今後、改善ひとこと

どういうチームにしていいのか。

チームメンバー結構違うらしい。

互いに理解し合えるように
意見を出していく。

12

3. りかえ

① 今後 改善に心を.
事.

1. 共通資源として、た4-62" ~~開発~~で開発を行).

2. ~~2009.7月計画~~
千人メンバーのペーパーランを矢⁰す。

⑨ 今日、気付いた事.

1. プラヤイル宣言の氣にならない事は対33.

人口の分布。原則4の全員で共通の目標に向かう。

平均22歳が33歳。

2. 人口の単位が4~40人よりも同じ課題を抱えている。

3. 評価基準は人それぞれ

運動用けつての力

アラヤイルの~~アラヤイル~~力

技術としの原因は72, 2, 8。

○ 今日、気づいたこと

- ・ 業務知識だけではなく、
人のコミュニケーションが大事
- ・ チームの目的や方針をメンバーで
共有すること
目的や方針はリーダーが指示す
人の意欲はリーダーかが立てる

○ 今後、改善すること

- ・ ユニケーションを大事にする
業務意外でも時間を取る
- ・ 無駄とは何か、リーダーとは何か
常に考える

<今日、気がいたこと>

- ・チーム内で、メンバーが大変にいたいことや、その人となりを知ることで英語理解を深めることができた。~~大事~~ことであること
- ・Do / Don'tの基準をはっきりさせることで、メンバーが動き易くなること。

<今後、改善すること>

- ・プロアクト利用者、チーフメンバーのことについて、今一度理解するための行動をすること。
- ・(今までやっていたら)三
チーフメンバーに対して振りたいこと、伝えたいことを方法やタブレットを参考しながら、より良い伝え方にはどうすれば良いのかを考え、実践すること。
- ・プロアクト用表の進め方について、チーフメンバー自分で考えて、3進み方を伝えたりして、お互いに2つ以上より良い方法がないか一緒に考えること

今日、会ったこと

- ・ 10月4日外童住者と「ヒテと「製品」に日が行きましたが、午後4人といふことにともと自己配りいかないといつて下さい
- ・ POは立位置が特殊であるがゆえ孤独感
が生じやすくなるか。開発者と**顧客**、開発者と
経営者、納期と品質との相反しがちなもののバランス
を取る量産の存在感へとスニ古意識すこには
重要

今後改善すること

- ・ 改めて自分が作りたいチーム像というものを整理
して、4人に伝達する
- ・ 最後二週間は1回は4人の振り返りの時間を
設けた
- ・ 1on1を実施してハーモナリティの理解をする

気づいたこと

- ・どうしてダメなんだ"うと悩んで"いる事が、人に説明することでクリアになり原因と対策が短時間で立てられる
- ・頭ではアシアイルを理解しても、会社では役職や評価とミスマッチして進めなくなることがある。
そこから目をそむけず"前に進もうとすることが大事

今後改善すること

- ・どうなりたいかも一度メンバーと向き合う必要がある。
- ・そもそも〇〇がどうなった(け)確認する